



SWIFT、gpi を全ての外国送金に適用する方針を発表

2020 年末までに SWIFT のネットワーク上の全銀行の同日着金、送金追跡機能、手数料の透明性提供予定

ブリュッセル, June 2018-

SWIFT は gpi をそのネットワーク上の 10,000 行全てに適用してグローバルで gpi 送金のメリットを浸透させる劇的な拡大方針を取ることを発表しました。

SWIFT の経営層と理事会が共同してこの決断をしたこと背景には、予想を上回る gpi 採用銀行の急速な増加があります。一例としては現在世界の上位 50 行のうち 49 行が gpi を採用していることがあげられます。SWIFT の理事会の強い支持によりこの方針が決定され 2020 年の年末までに SWIFT のネットワーク上の全ての銀行が同日着金、送金追跡機能、手数料の透明性を提供できるようになります。gpi の実装はより小規模の銀行にとっても導入しやすくすることにより、全ての銀行がその顧客に迅速・高い透明性・予め予想できるという gpi のメリットを生かした外国送金を提供できることとなります。

SWIFT の Chairman である Yawar Shah 氏は次のように語りました。「gpi のサービスはまれにみるスピードでデザイン、開発、展開されました。gpi は既に外国送金の手続きが急速に変革しているということを実感させています。他のサービスではなし得ない巨額の送金を安全にかつ瞬時に世界中で実施するということが、比類ない規模で実現されています。この gpi をさらに拡大し SWIFT のネットワーク上の全ての銀行が gpi を活用できるようにするには今が絶好のタイミングです。そのために、理事会は gpi がネットワーク全体へ実装されることを強く支持します」

SWIFT の Chief Marketing Officer である Luc Meurant は次のように述べました。「2020 年までに全ての銀行、通貨、国別ルートに gpi を展開するという意欲的な取り組みをします。導入を加速し、gpi による外国送金の劇的な改善をすることは銀行業界全体とその顧客に斬新な変化をもたらします」

中小規模の銀行は外国送金の取り扱いが全体に比して必ずしも大きくはありませんが、SWIFT は basic gpi サービスを提供し、中小規模銀行の gpi 利用を促進し全ての仕向・被仕向送金が gpi 対応を可能にするように対応します。

2017 年にスタートした gpi は既に SWIFT を経由する外国送金の 25% を占めており、日々 1,000 億米ドルに相当する金額が gpi によって送金されています。受益者の口座への送金までにかかる時間は分単位、場合によっては秒単位で実施されています。

SWIFT gpi は導入開始後急速に浸透し、180 を超える銀行によって採用されています。この急速な浸透は銀行の顧客によるより早い送金、より透明性の高いサービス、送金情報の拡充と予見可能性といったニーズに支えられたものです。

Gpi による送金のほぼ 50% は受益者口座に 30 以内に入金され、多くは秒単位で処理されています。これにより、銀行はその顧客により高い価値のサービスを提供することが可能になります。現在までに 50 百万件の外国送金が gpi で実施され、日々数十万件が 450 の国別ルートで 100 以上の通貨で取り扱われています。主要なルートである米中間では gpi 送金は既に半分を占めるに至っています。

SWIFT gpi について

SWIFTのグローバル・ペイメント・イノベーション（SWIFT gpi）は、外国送金の過去30年以上の歴史上もっとも大きな革新をもたらす新たな標準です。SWIFT gpiは、そのスピード、透明性、最終段階までの追跡機能によって外国送金に関わる顧客の満足度を飛躍的に改善します。今日、日々数十万件の外交送金がgpiの標準に従って実施され、分単位あるいは秒単位のスピードで処理されています。

企業にとって、SWIFT gpiによって改善された決済サービスには以下の特徴があります。

- より迅速な決済一時差がない地域のgpiメンバー間では同日資金化
- 手数料の透明性
- 最終段階までの追跡
- 送金情報（Remittance information）を最後まで保持

SWIFT gpiの取り組みでは、外国送金分野における銀行の事務コストを削減しつつイノベーションをもたらすよう、グローバル規模の銀行業界とFintechコミュニティを含めた開発を行いました。2017年1月にスタートして以来、gpiは200カ国以上のルートにおける企業向け外国送金について劇的な改善をもたらしています。gpiの主な機能には拡張業務ルールとAPI接続が可能な安全なクラウド式追跡用データベースが含まれています。SWIFT gpiにより企業は国際展開を拡大し、サプライヤーとの良好な関係と財務上の効率化を実現することができます。

国際銀行間通信協会（SWIFT）について

SWIFTはメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFTは金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFTは200を超える国と地域における11,000以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFTは信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。またSWIFTは国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFTはベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

詳しくは www.swift.com をご覧いただくか [Twitter: @swiftcommunit](https://twitter.com/swiftcommunit) および [LinkedIn: SWIFT](https://www.linkedin.com/company/swift) をフォローしてください。

お問い合わせ:

ウェーバーシャンドウィック SWIFT担当 トウ、岩田

03-5427-7411

swif japan@webershandwick.com